

11.研究発表（平成21年度の研究成果）

〔雑誌論文〕 計（ 1 ）件 うち査読付論文 計（ 1 ）件

著者名		論文標題			
Natthawut Wiriyathanawudhiwong, Iwao Ohtsu, Zhao-Di Li, Hirotsada Mori and Hiroshi Takagi		The outer membrane TolC is involved in cysteine tolerance and overproduction in <i>Escherichia coli</i>			
雑誌名		査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁
Applied Microbiology and Biotechnology		有	81	2009	903-913

著者名		論文標題			
雑誌名		査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁

著者名		論文標題			
雑誌名		査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁

〔学会発表〕 計（ 7 ）件 うち招待講演 計（ 0 ）件

発表者名		発表標題		
大津 徹生、Natthawut Wiriyathanawudhiwong、高木博史		システイン排出トランスポーターの生理的意義：DsbA-DsbB-Ub 酸化システムによる大腸菌の細胞内レドックスの制御機構		
学会等名		発表年月日	発表場所	
第4回トランスポーター研究会		2009年5月23日	東京	

発表者名		発表標題		
Iwao Ohtsu, Natthawut Wiriyathanawudhiwong, Hiroshi Takagi		Molecular mechanism of growth inhibition of <i>Escherichia coli</i> by L-cysteine		
学会等名		発表年月日	学会等名	
11 th International Congress on Amino Acids, Peptides and Proteins		2009年8月3日	Vienna	

発表者名		発表標題		
Natthawut Wiriyathanawudhiwong, Iwao Ohtsu, Friedrich Srienc, Hiroshi Takagi		Cysteine overproduction by engineered <i>Escherichia coli</i> strain with a high ethanol yield		
学会等名		発表年月日	学会等名	
11 th International Congress on Amino Acids, Peptides and Proteins		2009年8月3日	Vienna	

発表者名		発表標題		
大津 徹生、Natthawut Wiriyathanawudhiwong、高木 博史		大腸菌システイン排出トランスポーターの生理的意義：細胞内で生じる活性酸素種の除去機構		
学会等名		発表年月日	発表場所	
2009年度日本農芸化学会関西・中四国・西日本支部、日本栄養・食糧学会九州・沖縄支部および日本食品科学工学会西日本支部合同沖縄大会		2009年10月31日	沖縄	

発表者名	発表標題	
仲谷 豪、大津 徹生、Natthawut Wiriyanawudhiwong、高木 博史	還元ストレスによる大腸菌の生育阻害機構の解析	
学会等名	発表年月日	発表場所
2009年度日本農芸化学会関西・中四国・西日本支部、日本栄養・食糧学会九州・沖縄支部および日本食品科学工学会西日本支部合同沖縄大会	2009年10月31日	沖縄

発表者名	発表標題	
大津 徹生、Natthawut Wiriyanawudhiwong、高木 博史	大腸菌のシステイントランスポーターの生理的意義：ペリプラズム内で生じる過酸化水素の除去機構	
学会等名	発表年月日	発表場所
日本農芸化学会2010年度大会	2010年3月29日	東京

発表者名	発表標題	
仲谷 豪、大津 徹生、高木 博史	大腸菌における新規システイン生合成酵素の探索と発酵生産への応用	
学会等名	発表年月日	発表場所
日本農芸化学会2010年度大会	2010年3月29日	東京

〔図書〕 計 (0) 件

著者名	出版社		
	書名	発行年	総ページ数

12. 研究成果による産業財産権の出願・取得状況

〔出願〕 計 (0) 件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	出願年月日	国内・外国の別

〔取得〕 計 (0) 件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	取得年月日	国内・外国の別

13. 備考

※ 研究者又は所属研究機関が作成した研究内容又は研究成果に関するwebページがある場合は、URLを記載すること。

--